

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: -
1.0 2024/03/15 000000318445 初回作成日: 2024/03/15

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : シーカエマコ S 200 (旧) マスターエマコ S 200

製品コード : 000000000057406938

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称 : シーカ・ジャパン株式会社

住所 : 神奈川県茅ヶ崎市萩園 2722

電話番号 : +81467849640

FAX番号 : +81467849648

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 建設用化学品

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

皮膚腐食性／刺激性 : 区分 1

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 区分 1

生殖細胞変異原性 : 区分 2

発がん性 : 区分 1A

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 区分 1 (心臓血管系)


特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 区分 3 (気道刺激性)

特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : 区分 1 (呼吸器, 腎臓, 免疫系, 血管)

特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : 区分 2 (肝臓, 副腎, 心臓血管系)

GHS ラベル要素

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: -
1.0 2024/03/15 000000318445 初回作成日: 2024/03/15

- 絵表示又はシンボル : 
- 注意喚起語 : 危険
- 危険有害性情報 : H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。
H335 呼吸器への刺激のおそれ。
H341 遺伝性疾患のおそれの疑い。
H350 発がんのおそれ。
H370 臓器（心臓血管系）の障害。
H372 長期にわたる、又は反復暴露による臓器（呼吸器、腎臓、免疫系、血管）の障害。
H373 長期にわたる、又は反復ばく露により臓器（肝臓、副腎、心臓血管系）の障害のおそれ。
- 注意書き : **安全対策:**
P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P260 粉じん／ミストを吸入しないこと。
P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。
P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P271 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
応急措置:
P301 + P330 + P331 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
P303 + P361 + P353 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。
P304 + P340 + P310 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。
P305 + P351 + P338 + P310 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
P308 + P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
P363 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
保管:
P403 + P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: -
1.0 2024/03/15 000000318445 初回作成日: 2024/03/15

P405 施錠して保管すること。

廃棄:

P501 内容物/容器を承認された処理施設に廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性

重要な徴候及び想定される非常事態の概要 : この項に、有効な情報の記載がある場合、それは、GHS 分類の結果ではなく、物質もしくは混合物の総合的な危険性に寄与する可能性がある GHS 分類以外の危険性に関するものである。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
化学名又は一般名 : 変性セメントモルタル

成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS) / 安衛法 (ISHL) 番号
ポルトランドセメント	65997-15-1	>= 50 - < 60	-
石英 (結晶質シリカ, 粒径 < 63 μ m)	14808-60-7	>= 30 - < 40	1-548
アルミン酸カルシウム	12042-78-3	>= 3 - < 10	9-2408
亜硝酸カルシウム	13780-06-8	> 0 - < 10	1-187
酸化マンガン	1344-43-0	> 0 - < 10	1-475

4. 応急措置

一般的アドバイス : 救急隊員は自身の安全に注意を払うこと。
汚れた衣服は取り替える。

吸入した場合 : 粉塵吸入後
安静にし、新鮮な空気のある場所に移動させること。
気分が悪い場合 :
医師の診察を受けること。

皮膚に付着した場合 : 皮膚に付着した場合、直ちに水と石鹼で十分に洗い流す。
いかなる場合にも有機溶剤を使用してはいけない。
刺激が続くようであれば、医師の診察を受けること。

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: -
1.0 2024/03/15 000000318445 初回作成日: 2024/03/15

- 眼に入った場合 : 直ちにまぶたを開き流水で 15 分以上洗い流した後、眼科医の診察を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 直ちに口をすすぎ、200-300ml の水を飲み、医者 の診察を受ける。
中毒情報センターまたは医師の指示がない限り、吐かせないこと。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。
重篤な眼の損傷。
呼吸器への刺激のおそれ。
遺伝性疾患のおそれの疑い。
発がんのおそれ。
臓器の障害。
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害。
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。
- 医師に対する特別な注意事項 : 症状に応じた治療を行う。
-

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 泡
水噴霧
粉末
二酸化炭素 (CO₂)
製品自身は、可燃性ではない。包装材料のみ、着火する。一般的に使用される消火剤で充分である。
- 使ってはならない消火剤 : 棒状放水
- 特有の危険有害性 : 製品は、燃焼性または爆発性でない。
有害性は特になし。
- 特有の消火方法 : 製品自体は非可燃性であるが、周辺の消火方法に留意すること。
燃焼物および火災条件により危険度が変わる。
汚染された消火廃水は法令に従って適切に処分する。
- 消火を行う者の保護 : 自給式呼吸器を着用のこと。
-

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 粉じんの発生を避ける。
皮膚や眼への接触を避けること。
保護具を着用する。
適切な安全衛生管理方法に従って取り扱うこと。
-

版番号 1.0 改訂日: 2024/03/15 整理番号: 000000318445 前回改訂日: - 初回作成日: 2024/03/15

- 環境に対する注意事項 : 排水溝等に流出させない。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 掃き集めるかすくい取る。
廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 火災及び爆発の予防 : 注意事項は特になし。
- 安全取扱注意事項 : 粉じんの発生を避ける。
粉塵を吸入しない。
皮膚や眼への接触を避けること。
水とか湿気の中では、この製品に含まれるセメントが、アルカリと反応する。これが、皮膚や粘膜の激しい刺激となる可能性がある。皮膚や粘膜の湿気は、この反応に十分な量である。従って、乾燥製品への長期の直接接触は、避けるべきである。
製品を装置内に投入するとき、風上から仕込み、出来るだけ高い位置から仕込まないこと。
換気装置なしに大量に取り扱う場合は呼吸保護具を着用する。
- 接触回避 : 強塩基類
強酸
- 衛生対策 : 作業中は、飲食や喫煙をしない。
作業後に手洗い、洗眼をする。
作業後に皮膚を洗浄し、皮膚保護剤を塗布すること。
手袋は使用前に定期的に点検すること。小穴がある場合など、必要に応じて手袋を交換すること。
汚れた衣服は直ちに脱ぎ、必要であれば再使用や廃棄の前に洗浄すること。

保管

- 保管状態に関する追加情報 : 容器は密閉して乾燥した場所に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標 (暴露形)	管理濃度 / 基準濃	出典
----	--------	----------	------------	----

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: -
 1.0 2024/03/15 000000318445 初回作成日: 2024/03/15

		態)	度 / 許容濃度	
65997-15-1	未特定	OEL-M (吸入性粉じん)	1 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度)
		OEL-M (総粉じん)	4 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度)
		TWA (呼吸濃度)	1 mg/m ³	ACGIH
14808-60-7	未特定	OEL-C (吸入性粉じん)	0.03 mg/m ³ (シリカ)	日本産業衛生学会 (許容濃度)
	詳細情報: 発がん物質, 「第1群」はヒトに対して発がん性があると判断できる物質である。この群に分類される物質は, 疫学研究からの十分な証拠がある。			
		TWA (呼吸濃度)	0.025 mg/m ³ (シリカ)	ACGIH
アルミン酸カルシウム	12042-78-3	TWA (呼吸濃度)	1 mg/m ³ (アルミニウム)	ACGIH
酸化マンガン	未特定	ACL	0.2 mg/m ³ (マンガン)	安衛法 (管理濃度)
		OEL-M (吸入性粉塵)	0.02 mg/m ³ (マンガン)	日本産業衛生学会 (許容濃度)
	詳細情報: 第2群: ヒトに対しておそらく生殖毒性を示すと判断される物質			
		OEL-M (総粉塵)	0.1 mg/m ³ (マンガン)	日本産業衛生学会 (許容濃度)
	詳細情報: 第2群: ヒトに対しておそらく生殖毒性を示すと判断される物質			
		TWA (吸入濃度)	0.1 mg/m ³ (マンガン)	ACGIH
		TWA (呼吸濃度)	0.02 mg/m ³ (マンガン)	ACGIH

保護具

呼吸用保護具 : 呼吸保護具 (もし粉塵が発生した場合)

フィルタータイプ : 固体微粒子および液体微粒子に対して中程度の有効性を示す粒子フィルタ。(例: EN 143 P2型もしくはEN 149 FFP2型)。

手の保護具

備考 : ニトリルコートされた綿の手袋 (例: EN 388, 374)

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2024/03/15	000000318445	初回作成日: 2024/03/15

- 眼の保護具 : 密着性安全ゴーグル (飛沫よけ型ゴーグル)
- 皮膚及び身体の保護具 : 保護具は作業と暴露レベルに応じて選定選択すること。
軽量の保護衣
- 保護対策 : 皮膚、眼、衣服への接触を避ける。
粉塵を吸入しない。
取扱い中のコンタミを防止するために、一体型作業衣と手袋を使用する。
適切な安全衛生管理方法に従って取り扱うこと。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 粉末
- 色 : 灰色
- 臭い : 無臭
- 臭いのしきい(閾)値 : 吸入による健康障害の可能性のために決められていない。
- 融点 : 約 1,350 °C
- 沸点 : データなし。
- 可燃性 (固体、気体) : 燃焼しない
- 引火点 : 非該当
- 自己発火性 : 自己発火性なし。
- 分解温度 : 通常の実取扱い条件下で危険分解物なし。
- pH : 約 12.5 (20 °C)
- 蒸発速度 : データなし
- 自然発火温度 : 不定
- 粘度
粘度 (粘性率) : 非該当

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2024/03/15	000000318445	初回作成日: 2024/03/15

動粘度 (動粘性率)	:	データなし
溶解度		
水溶性	:	不溶
溶媒に対する溶解性	:	データなし
n-オクタノール/水分配係数 (log 値)	:	データなし
蒸気圧	:	非該当
密度及び/又は相対密度 比重	:	データなし
密度	:	約 2.6 - 3.0 gPcm3 (20 ° C)
爆発特性	:	非爆発性
酸化特性	:	本製品は酸化性物質としては分類されない。
自己発熱性化学品	:	自己発熱性物質ではない。
金属腐食速度	:	金属に対する腐食性なし。

10. 安定性及び反応性

反応性	:	指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。
化学的安定性	:	製品は取扱説明書に従って貯蔵すれば安定である。
危険有害反応可能性	:	製品は取扱説明書に従って貯蔵すれば安定である。
避けるべき条件	:	製品安全データシートの第7項の取り扱い及び保管上の注意を参照すること。
混触危険物質	:	強塩基類 強酸
危険有害な分解生成物	:	通常のと扱い条件下で危険分解物なし。

版番号 1.0 改訂日: 2024/03/15 整理番号: 000000318445 前回改訂日: - 初回作成日: 2024/03/15

11. 有害性情報

急性毒性

データが不足しているので分類されていない。

皮膚腐食性／刺激性

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

重篤な眼の損傷。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性

データが不足しているので分類されていない。

呼吸器感作性

データが不足しているので分類されていない。

生殖細胞変異原性

遺伝性疾患のおそれの疑い。

発がん性

発がんのおそれ。

生殖毒性

データが不足しているので分類されていない。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

呼吸器への刺激のおそれ。
臓器（心臓血管系）の障害。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

長期にわたる、又は反復暴露による臓器（呼吸器、腎臓、免疫系、血管）の障害。
長期にわたる、又は反復ばく露により臓器（肝臓、副腎、心臓血管系）の障害のおそれ。

誤えん有害性

データが不足しているので分類されていない。

詳細情報

製品:

備考 : 通常の使用条件下では健康を損ねることが知られておらず、予想もされない。
本品は未試験である。毒性に関する記述は、各成分の特性に基づくものである。

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: -
1.0 2024/03/15 000000318445 初回作成日: 2024/03/15

12. 環境影響情報

生態毒性

製品:

環境毒性アセスメント

水生環境有害性 短期 (急性) : データなし

水生環境有害性 長期 (慢性) : データなし

残留性・分解性

製品:

生分解性 : 備考: 無機物質に関して適合しない。

生体蓄積性

製品:

生体蓄積性 : 備考: 本品の安定性と水に対する不溶性のため、生物への悪影響は考えにくい。

成分:

亜硝酸カルシウム:

生体蓄積性 : 備考: データなし

土壌中の移動性

製品:

環境中の分布 : 備考: 土壌曝露後には土壌の固形粒子に吸着する可能性が高いため、地下水の汚染は生じないものと思われる。
水面から大気中に揮発しない。

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響

製品:

PBT および vPvB の評価結果 : この物質/混合物は 0.1%以上の濃度で難分解性で高蓄積性および毒性を有する物質 (PBT) または極めて難分解性、高い生体蓄積性を有する物質 (vPvB) と懸念される物質を含有して

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: -
1.0	2024/03/15	000000318445	初回作成日: 2024/03/15

いない。

生態系に関する追加情報 : 前処理なしに河川等に流してはならない。
本品は未試験である。環境毒性に関する記述は、各成分の特性に基づくものである。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物 : 国のまたは地方の法定事項に従うこと。
残渣は、この物質/製品と同様の方法で廃棄しなければならない。

汚染容器及び包装 : 完全に空にした容器は再利用できる。

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送 (UNRTDG)

国連番号 : 非該当
国連輸送名 (Proper shipping name) : 非該当
国連分類 (Class) : 非該当
副次危険性 (Subsidiary risk) : 非該当
容器等級 (Packing group) : 非該当
ラベル (Labels) : 非該当
環境有害性 : 非該当

航空輸送 (IATA-DGR)

UN/ID 番号 (UN/ID number) : 非該当
国連輸送名 (Proper shipping name) : 非該当
国連分類 (Class) : 非該当
副次危険性 (Subsidiary risk) : 非該当
容器等級 (Packing group) : 非該当
ラベル (Labels) : 非該当
梱包指示 (貨物機) (Packing instruction (cargo aircraft)) : 非該当
梱包指示 (旅客機) (Packing instruction (passenger aircraft)) : 非該当

海上輸送 (IMDG-Code)

国連番号 : 非該当

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: -
1.0 2024/03/15 000000318445 初回作成日: 2024/03/15

国連輸送名 (Proper shipping name) : 非該当
国連分類 : 非該当
副次危険性 : 非該当
容器等級 : 非該当
ラベル : 非該当
EmS コード : 非該当
海洋汚染物質 (該当・非該当) : 非該当

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)
供給された状態の製品には非該当。

15. 適用法令

関連法規

消防法

危険物、指定可燃物に該当しない。

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質 (既存化学物質)

非該当

変異原性の認められた化学物質 (新規届出化学物質)

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第 57 条の 2 (施行令別表第 9)

化学名	含有量 (%)	備考
結晶質シリカ	>=30 - <40	-
亜硝酸カルシウム	>0 - <10	2025 年 4 月 1 日以降
マンガン及びその無機化合物	>0 - <10	-

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第 57 条 (施行令第 18 条)

化学名	備考
結晶質シリカ	-
亜硝酸カルシウム	2025 年 4 月 1 日以降

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: -
1.0 2024/03/15 000000318445 初回作成日: 2024/03/15

がん原性物質 (労働安全衛生規則第 577 条の 2)

化学名
結晶質シリカ (石英)

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

16. その他の情報

本 SDS において労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます

日付フォーマット : 年/月/日

その他の略語の全文

ACGIH : 米国。ACGIH 限界閾値 (TLV)
安衛法 (管理濃度) : 作業環境評価基準、健康障害防止指針
日本産業衛生学会 (許容濃度) : 日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告 -I. 化学物質の許容濃度

ACGIH / TWA : 8 時間、時間加重平均
安衛法 (管理濃度) / ACL : 管理濃度、基準濃度
日本産業衛生学会 (許容濃度) / OEL-M : 許容濃度
日本産業衛生学会 (許容濃度) / OEL-C : 最大許容濃度

AIIC - オーストラリアの工業化学品インベントリ; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2024/03/15	000000318445	初回作成日: 2024/03/15

長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法(日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量(半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - テリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性(物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリー; (Q) SAR - (定量的)構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録(REACH)に関する規則(EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TECI - タイに既存の化学物質のインベントリ; TCSI - 台湾化学物質インベントリー; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法(米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA